



## 勇壮な騎馬武者が駆ける山と川の風景、太平洋の恵みと歴史ロマンがあるまち

太平洋に面し、福島県浜通り北部に位置する南相馬市は、2006(平成18)年に旧小高町、旧鹿島町、旧原町市が合併して誕生しました。海・川・山の豊かな自然に恵まれ、勇壮な国の重要無形民俗文化財「相馬野馬追」を継承する、歴史と文化が薫るまちです。東日本大震災の被災から4年を経た現在は、約63,000人が暮らし、復興への道を着実に歩んでいます。



取材・写真協力：南相馬市観光交流課  
南相馬観光協会

### ① 相馬野馬追

相馬氏の祖・平将門が野馬を放って行った軍事訓練を起源とする一大伝統祭事。7月末の土・日・月の3日間、数百騎の騎馬武者が甲冑と先祖伝来の旗指物を身につけて疾走する姿は、戦国絵巻さながらの迫力です。



### ② 大悲山の石仏

平安時代前期に製作されたとされる薬師堂石仏・阿弥陀堂石仏・観音堂石仏は、東北地方で最大・最古の石仏。国指定史跡で、美術的価値も高く、日本三大磨崖仏の一つに数えられています。



### ③ 泉の一葉松

樹齢は推定400年、樹高9m、根回り3m、枝幅約14mの巨木。一本に一葉と二葉の両方が混じり合う学術上も貴重な松で、東日本大震災の津波にも耐え、見る人に勇気を与えています。



### ④ 南相馬博物館

常設展では南相馬の自然・歴史・民俗を甲冑武具などの資料とともに紹介。「相馬野馬追」の神旗争奪戦を再現したジオラマや、震災前の風景を映す大画面シアターなどが見学できます。



### ⑤ 凍天

草餅を凍結・自然乾燥させた福島の伝統食品「凍み餅」をドーナツ生地で包んで揚げた名物菓子。カリッとした外側、ふんわりした中身、もっちりした餅の、異なる食感とほど良い甘さが魅力です。